

視覚支援の活用（４）

兵庫県立芦屋特別支援学校

平成30年10月3日（水）

地支セン通信 No. 5

～授業の見通しって大切～

終了時刻を過ぎても終わらない研修会でイライラしたことはありませんか？

こんな悩み事はありませんか？

- ・授業の前半しか集中できない。
- ・気持ちがいつもどこかにいっている気がする。

こんな視覚支援を使ってみたら？

- ①プリントをする
- ②答え合わせをする
- ③足し算
- ④ふりかえり

黒板の端に授業の流れを記入する。
終わった活動を消していく。

それにより得ること

- ・授業の見通しが持つことができ、自分で目標を決めることができる。
例)①②の活動は苦手だけど、③④は好きだから頑張ろうと思える。
- ・遅れていても今どこをやっているのかを見て確認することができる。
- ・終わりが分かり、もう少し頑張ろうという意欲につながる。

→学習内容の分かりやすい整理や提示は、全ての幼児児童生徒にとって分かりやすいユニバーサルな授業につなげていくことができる。学校全体や学年で取り組んでいくとよいかもかもしれませんね。